

H教区新報 YOG

発行所

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
[編集] 教区基推委広報部

2010.11 166号



溢れんばかりのご参拝（3階の本堂）

教区・別院七五〇回大遠忌 八日間の修行・九月三十日は御親修、

九月三十日（木）から
十月八日（金）（十月四
日は休み）までの八日間
にわたり、改築された本
願寺神戸別院を会場とし
て、「兵庫教区・本願寺

神戸別院親鸞聖人七五〇
回大遠忌法要」が盛大に
修行された。
のべ五千人を超える参
拝者で、別院本堂に用意
された五百席超の椅子席

は連日満席。後方での参
拝者の為に、大型のスク
リーンに加え、六台のモ
ニターを設置しての大法
要は、初日のご門主様
ご親修により始まり、前半
四日間は宗祖讚仰作法、
後半四日間は宗祖讚仰作法、
法音楽法要が、菩提樹の

花弁を模した華芭の舞う
中、厳かに勤められた。
二日目からは、法要の
オーブニングムービーに
続いて讚仰作法のお勤め
の後、教務所長挨拶・ビ
デオ映像によるご門主様
ご親教があり、その後、
教区内布教使（現生正定
聚講師団）による法話を
いただいた。

法話では、七人の布教
使が各々の切り口で教区
教學テーマである「現生
正定聚」の味わいを話さ
れた。

その後、休憩を挟んで
寺族婦人会・仏教婦人会
による仏教讚歌コーラ
ス、千扇流宗舞宗家千扇
氏の歌・舞踊の披露が行
われ、統いて三國連太郎
氏（俳優）をお招きして
対談形式での記念講演と
続いた。

最後に決意表明の発表
が行われ、法要を締めく
くるエンディングムービー
が流れ、「基幹運動推進
御同朋の社会をめざす
法要」に際しての消息
を参拝者全員で唱和し、
恩徳讚の齊唱にて法要は
終了した。

最後に決意表明の発表
が行われ、法要を締めく
くるエンディングムービー
が流れ、「基幹運動推進
御同朋の社会をめざす
法要」に際しての消息
を参拝者全員で唱和し、
恩徳讚の齊唱にて法要は
終了した。

最後に決意表明の発表
が行われ、法要を締めく
くるエンディングムービー
が流れ、「基幹運動推進
御同朋の社会をめざす
法要」に際しての消息
を参拝者全員で唱和し、
恩徳讚の齊唱にて法要は
終了した。

最後に決意表明の発表
が行われ、法要を締めく
くるエンディングムービー
が流れ、「基幹運動推進
御同朋の社会をめざす
法要」に際しての消息
を参拝者全員で唱和し、
恩徳讚の齊唱にて法要は
終了した。



平成二十
二年九月三
十日から十
月八日まで
兵庫教区主
催「親鸞聖人七五〇回大遠
忌法要」が莊嚴、かつ厳肅に
お勤まりになりました。四年
間にわたり各教化団体のお
待ち受け法要を勤修いたし
ました。中でも九月三十日の
法要是御門主様御親修を
頂き、内陣外陣共に満堂
なり、兵庫教区の集大成と
なりました◆また、大遠忌
法要をお迎えするにあたっ
て制定されました◆しかしながら、
今回依用しました「宗祖讚
仰作法」は僧侶・門信徒共に
まだ馴染みが薄く、全
座を通して美しい莊嚴であ
ったとは言えませんでした◆
正信偈を無本で称えられ
ようになるべきでしょう。来
年ご本山でお勤まりになる
团体参拝の折には、是非と
も身体に馴染んだお経でお
勤めにあたいたいものです。

最後に決意表明の発表
が行われ、法要を締めく
くるエンディングムービー
が流れ、「基幹運動推進
御同朋の社会をめざす
法要」に際しての消息
を参拝者全員で唱和し、
恩徳讚の齊唱にて法要は
終了した。

教区だより

11月・12月

25(木)	僧侶研修会(小森龍邦師)	神戸別院	10:30
〃	同朋講師研修会	神戸別院	13:30
26(金)	寺族婦人研修会	神戸別院	終日
27(土)	仏事幹部一泊研修会(28日まで)	神戸別院	
28(日)	幹部一泊研修会 長島愛生園・邑久光明園	神戸別院	13:30
29(月)	年末組長会	神戸別院	15:00
〃	報恩講子どもの集い スタッ夫会議	神戸別院	13:30
10(水)	総代会岡山ブロック研修会 岡山南組西方寺	岡山南組西方寺	10:30
〃	教区基推委企画委員会・大遠忌推進総務部合同会議	神戸別院	
11(木)	教学伝道部門会議	神戸別院	14:30
12(金)	寺婦運営委員会	神戸別院	13:30
15(月)	神戸別院常例法座(凌井佳信師 兵庫教区) (16日まで)	神戸別院	13:30
16(火)	青僧会役員	神戸別院	16:00
17(水)	組長会ブロック長会 〃 差別事件対応専門部会	神戸別院	13:30 16:00
23(火)	寺院活性化事業「阪神北組布教大会」	光圓寺	14:00
24(水)	少年連盟役員会	神戸別院	15:00
25(木)	講師団合同研修会(小森龍邦師)	神戸別院	10:30
4(土)	第一土曜仏教講座	神戸別院	13:30
9(木)	別院仏事報恩講	神戸別院	午後
11(土)	第3ブロック保育大学講座	神戸別院	終日予定
15(水)	神戸別院常例法座(凌井佳信師 兵庫教区) (16日まで)	神戸別院	10:00
20(月)	青僧会連続研修会(薄井秀夫師)	神戸別院	16:00
24(金)	報恩講子どもの集い スタッフ会(事前準備)	神戸別院	14:00
25(土)	報恩講子どもの集い	神戸別院	10:30
26(日)	仏青忘年会(ヤング広場)	神戸別院	18:00
31(金)	神戸別院除夜会	神戸別院	

10:30
13:30
終日

13:30
午後
終日予定

13:30
10:00
16:00

14:00
10:30
18:00

リーフレット報恩講号 《受付開始》



『執筆いただきました。
一部一千円(送料実費)
にて販売致しております。
また、百部以上ご注文
の場合に限り、寺号を無
料で印刷致します。電話・
FAXにてご注文下さい。



おてらくご
落語の中の浄土真宗

釈迦宗
著
宗敎性が理解でき
る。子どもの頃から
聞いてきた著者が語る
「おてらくご」論。お説教
と落語を「倍楽しめる」
との感想です。

左記の方が逝去され
ましたので謹んで敬弔の意
を表します

岩田照子(阪神北組淨福
寺前坊守)平成二十二年八
月十五日百歳

保科フエ(阪神南組光輪
寺前坊守)平成二十二年八
月十一日九十二歳

中田きみゑ(網干組教円
寺住職)平成二十二年九
月二十六日八十九歳

堀川露子(揖龍東組善行
寺前坊守)平成二十二年九
月二一日百歳

閑空童(神戸中組正應
寺住職)平成二十二年八
月二一日百歳

十月初一日現在

【敬用】

図書紹介

「おてらくご」

落語の中の浄土真宗

著
宗敎性が理解でき
る。子どもの頃から
聞いてきた著者が語る
「おてらくご」論。お説教
と落語を「倍楽しめる」
との感想です。

多くの宗教儀礼の
模倣ルーツを持つ
ことを知れば、落語
の持つ高い文化性と
お説教と落語の両方を
聞いてきた著者が語る
「おてらくご」論。お説教
と落語を「倍楽しめる」
との感想です。

柳家さん喬「寿限無」
笑福亭松喬「お文さん」
千八百九十四円(税込)

二クタ二冊、CD付。

節談説教(藤野宗城)・落
語柳家さん喬「寿限無」
笑福亭松喬「お文さん」

著
宗敎性が理解でき
る。子どもの頃から
聞いてきた著者が語る
「おてらくご」論。お説教
と落語を「倍楽しめる」
との感想です。

左記の方が逝去され
ましたので謹んで敬弔の意
を表します

岩田照子(阪神北組淨福
寺前坊守)平成二十二年八
月十五日百歳

保科フエ(阪神南組光輪
寺前坊守)平成二十二年八
月十一日九十二歳

中田きみゑ(網干組教円
寺住職)平成二十二年九
月二十六日八十九歳

堀川露子(揖龍東組善行
寺前坊守)平成二十二年九
月二一日百歳

閑空童(神戸中組正應
寺住職)平成二十二年八
月二一日百歳

十月初一日現在

【敬用】

左記の方が逝去され
ましたので謹んで敬弔の意
を表します

岩田照子(阪神北組淨福
寺前坊守)平成二十二年八
月十五日百歳

保科フエ(阪神南組光輪
寺前坊守)平成二十二年八
月十一日九十二歳

中田きみゑ(網干組教円
寺住職)平成二十二年九
月二十六日八十九歳

堀川露子(揖龍東組善行
寺前坊守)平成二十二年九
月二一日百歳

閑空童(神戸中組正應
寺住職)平成二十二年八
月二一日百歳

十月初一日現在

【敬用】

左記の方が逝去され
ましたので謹んで敬弔の意
を表します

岩田照子(阪神北組淨福
寺前坊守)平成二十二年八
月十五日百歳

保科フエ(阪神南組光輪
寺前坊守)平成二十二年八
月十一日九十二歳

中田きみゑ(網干組教円
寺住職)平成二十二年九
月二十六日八十九歳

堀川露子(揖龍東組善行
寺前坊守)平成二十二年九
月二一日百歳

閑空童(神戸中組正應
寺住職)平成二十二年八
月二一日百歳

十月初一日現在

【敬用】

左記の方が逝去され
ましたので謹んで敬弔の意
を表します

岩田照子(阪神北組淨福
寺前坊守)平成二十二年八
月十五日百歳

保科フエ(阪神南組光輪
寺前坊守)平成二十二年八
月十一日九十二歳

中田きみゑ(網干組教円
寺住職)平成二十二年九
月二十六日八十九歳

堀川露子(揖龍東組善行
寺前坊守)平成二十二年九
月二一日百歳

閑空童(神戸中組正應
寺住職)平成二十二年八
月二一日百歳

十月初一日現在

【敬用】

左記の方が逝去され
ましたので謹んで敬弔の意
を表します

岩田照子(阪神北組淨福
寺前坊守)平成二十二年八
月十五日百歳

保科フエ(阪神南組光輪
寺前坊守)平成二十二年八
月十一日九十二歳

中田きみゑ(網干組教円
寺住職)平成二十二年九
月二十六日八十九歳

堀川露子(揖龍東組善行
寺前坊守)平成二十二年九
月二一日百歳

閑空童(神戸中組正應
寺住職)平成二十二年八
月二一日百歳

十月初一日現在

【敬用】

左記の方が逝去され
ましたので謹んで敬弔の意

ご親教様主門



ご親教を述べられる御門主様

この度は、兵庫教区・区内各組でも法要行事が七五〇回大遠忌法要並びに別院改築落成奉告法要を皆さまと一緒に勤めできましたこと、まさにあり難く、また嬉しく存じます。

今年の三月には大阪城ホールでお待ち受けの法要行事があり、さらに教集されましたこと、まさにあり難く存じます。

聖人のみ教えを伝えたいとの皆さまのご熱意が結びましたこと、まさにあり難く存じます。

私は私にとってどういう方がを確かめたいと思うます。歴史上の有名人であるとか、宗祖であると

いうことなどまらず、私が人生の師匠、一番大事なことを教えて下さった方として仰ぐことが出来るかどうかを確かめたいと思います。

ただ今ご一緒に勤めいたしました。宗祖讃仰作法はお正信偈の内容に沿ってご和讃が配列されています。特にご門徒の方々には正信偈六首引きの最初にあるご和讃以

めいしました。特にご門徒の方々には正信偈六首引きの最初にあるご和讃以外にも、親しんでいたた

きたいというのが私の願いです。本山の大遠忌では、

この機会に、親鸞聖人の方を確かめたいと思

うが違うと思います。この機会に、親鸞聖人は私にとってどういう方を確かめたいと思うます。歴史上の有名人であるとか、宗祖であると

いうことなどまらず、私が人生の師匠、一番大事なことを教えて下さった方として仰ぐことが出来るかどうかを確かめたいと思

うが違うと思います。この機会に、親鸞聖人は私にとってどういう方を確かめたいと思

湊組尊光寺
◆十月初日◆松田義量
◆赤穂北組慈眼寺◆森田
◆龍司◆朝来組如來寺◆虎
◆城正明◆朝来組勝賢寺◆
◆藤正隆◆神戸湊組顕證寺
◆藤井雅峰◆朝来組西方
◆寺◆本田勇慈◆岡山北組
◆當林寺◆仲邑雅也◆神戸
◆湊組報雲寺◆田中信明/
◆神戸湊組光明寺◆昇高恭
◆寺◆後藤善史◆阪神北
◆組勝福寺◆小井田善之/
◆神姫組明正寺◆存育英/
◆神戸東組圓通寺◆箱本照
◆寺◆辻岡昭大◆神姫組了
◆慶寺◆後藤善史◆阪神北
◆組勝福寺◆小井田善之/
◆野界雄◆姫路西組萬丈寺
◆上田泰昭◆神戸東組妙
◆善寺◆宮里慈兒◆神明組
真宗寺
◆十月初六日◆浅野界雄
◆姫路西組萬丈寺◆後藤
◆善史◆阪神北組勝福寺◆
◆西源寺◆松田義量◆赤穂
◆北組慈眼寺◆箱本照幸/
◆姫路西組本徳寺◆永野
◆正寺◆藤井良信◆神崎組
◆福岡智哉◆揖龍東組圓福
◆寺◆光山道潤◆神崎組西
◆寺◆藤井良信◆神崎組
◆西源寺◆松田義量◆赤穂
◆北組慈眼寺◆箱本照幸/
◆姫路西組本徳寺◆永野
◆真宗寺



法要直前の差定説明を受けるご法中

里悠兒◆神明組眞宗寺◆
◆天野晃順◆姫路中組順正
◆寺◆松島法城◆多紀組專
◆福寺◆赤松普宣◆赤穂北
◆組專称寺◆北村昌康◆多
◆紀組金剛寺◆小宅匡◆神
戸湊組淨榮寺◆赤井法顕
◆寺◆阪神西組善教寺◆藤本
憲輝◆神戸西組安樂寺◆
◆昇高恭弘◆神戸中組大願
◆寺◆藤井雅峰◆朝来組西方
◆寺◆本田勇慈◆岡山北組
◆當林寺◆仲邑雅也◆神戸
◆湊組報雲寺◆田中信明/
◆神戸湊組光明寺◆昇高恭
◆寺◆後藤善史◆阪神北
◆組勝福寺◆小井田善之/
◆神姫組明正寺◆存育英/
◆神戸東組圓通寺◆箱本照
◆寺◆辻岡昭大◆神姫組了
◆慶寺◆後藤善史◆阪神北
◆組勝福寺◆小井田善之/
◆野界雄◆姫路西組萬丈寺
◆上田泰昭◆神戸東組妙
◆善寺◆宮里慈兒◆神明組
真宗寺
◆十月初六日◆浅野界雄
◆姫路西組萬丈寺◆後藤
◆善史◆阪神北組勝福寺◆
◆西源寺◆松田義量◆赤穂
◆北組慈眼寺◆箱本照幸/
◆姫路西組本徳寺◆永野
◆正寺◆藤井良信◆神崎組
◆福岡智哉◆揖龍東組圓福
◆寺◆光山道潤◆神崎組西
◆寺◆藤井良信◆神崎組
◆西源寺◆松田義量◆赤穂
◆北組慈眼寺◆箱本照幸/
◆姫路西組本徳寺◆永野
◆真宗寺

【奏樂員】(敬称略)

【決意表明発表者】(敬称略)

【会係】(敬称略)

【コーラス出演団体】(敬称略)

【各組団体参拝日】

【年連盟委員長】

【代】

【各組団体参拝日】

【年連盟委員長】

【各組団体参拝日】

【代】

【各組団体参拝日】

【年連盟委員長】

【各組団

決意表明

兵庫教区・本願寺神戸別院 親鸞聖人七五〇回大遠忌法要が「今、大切なことば」がある

「をテーマに勤修され、本日教区内各組より僧侶・門信徒が別院に参拝させていただきまし

た。親鸞聖人の独自の発揮である「現生正定聚」のみ教えを聞き、

いままさに、仏の智慧を得た仲間として、このご勝縁を慶ばせていただきました。

この慶びを次世代へ伝えるべく「人」の育成に努め、たとえ時代が移り変わろうとも、宗祖の説かれたまことのみ法りが混沌の世を生き抜く依り処とし

て、教え伝わっていくことを念願いたします。

今後は、この法要を機縁に、私たち僧侶・門信徒が全員聞法し全員伝道する推進役となり、ともにお念佛申す仲間の輪を拡げ、自他ともに心豊かに生きることのできる御同朋の社会の実現をめざしていきます。



明年、本山で勤修される親鸞聖人の教えを仰ぎつつ、現代社会に応えることのできる宗門となるよう一丸となって邁進することを決意いたします。

決意表明(藤花裕行氏 30日)

【出勤法中】（敬称略）

（九月三十日）◆前川隆

◆竹内俊之（揖龍東組淨蓮寺）◆應

供乗生（城崎組清蓮寺）◆竹内俊之（揖龍東組淨蓮寺）◆應

哲／神戸湊組尊光寺◆

小宅匡／神戸湊組

悟／水上組宝福寺◆

正親隆哲／岡山北

淨榮寺◆

寺◆古川大

来組極楽寺◆高崎

正英／神

崎組淨光寺◆霜尾

孝紹／赤

穂南組誓

◆松



後半の音楽法要では左余間に讃歌衆も加わった

【出勤布教使】（敬称略）

藤誠哲／養父組金光寺

寺島文泰／加古川組金

正寺◆堀晃洋／揖龍東組

西法寺◆光森常之／阪

組安養寺◆増井淨見（赤

穗北組淨蓮寺）◆藤榮行

神西組常宣寺◆大岡周賢

信（淡路組宣德寺）◆應

供乗生（城崎組清蓮寺）◆竹内俊之（揖龍東組淨

蓮寺）◆谷川弘顯（神戸

上義円／宍粟組西光寺◆

楠誓也／神戸湊組廣福寺

◆藤長正法／水上西組正

覺寺◆森田直道／播磨東

組妙覺寺◆大西正雄／神

戸西組顯眞寺◆松島法城

祥／多可組正福寺◆近藤

津守秀俊／神戸東組慈眼寺

◆津守秀俊／神戸東組照

光寺◆眞能義巳／姫路中

組法性寺◆箱本照幸／姫

路西組本徳寺◆善井英毅

／城崎組照満寺◆和仁章

隆／神戸中組教秀寺◆田

中信明／神戸湊組光明寺

◆中原昭俊／阪神東組專

正寺◆藤榮亮匡／淡路組

宣德寺◆昇高恭弘／神戸

中組大願寺

◆月嶋教史／加古川組南

宗寺◆堀川宣裕／城崎組

野晃順／姫路中組順正寺

◆神戸湊組善照寺◆堀晃

洋／揖龍東組西法寺◆天

正寺◆藤榮亮匡／淡路組

宣德寺◆昇高恭弘／神戸

中組大願寺

◆月嶋教史／加古川組南

宗寺◆堀川宣裕／城崎組

野晃順／姫路中組順正寺

◆神戸湊組善照寺◆堀晃

洋／揖龍東組西法寺◆天

正寺◆藤榮亮匡／淡路組

宣德寺◆昇高恭弘／神戸

中組大願寺

公瑞／佐用組光福寺◆高

崎長英／北根組正光寺◆

伊東良昭／網干組永念寺

◆池本史朗／姫路中組法

性寺◆森川晋乗／神姫組

常徳寺◆山本明乘／揖龍

末井明尚／阪神北組観正

寺◆廣澤慶嗣／阪神北組

最徳寺◆藤井晃正／播磨

東組法心寺◆内田完史

出石組西宗寺◆辻清昭／

揖龍西組專龍寺◆八木顕

路南組教念寺◆浅田宗岳

田義量／赤穂北組慈眼寺

◆津守秀俊／神戸東組慈眼寺

寺◆眞能義巳／姫路中

組法性寺◆箱本照幸／姫

路西組本徳寺◆善井英毅

／城崎組照満寺◆和仁章

隆／神戸中組教秀寺◆田

中信明／神戸湊組光明寺

◆中原昭俊／阪神東組專

正寺◆藤榮亮匡／淡路組

宣德寺◆昇高恭弘／神戸

中組大願寺

◆月嶋教史／加古川組南

宗寺◆堀川宣裕／城崎組

野晃順／姫路中組順正寺

◆神戸湊組善照寺◆堀晃

洋／揖龍東組西法寺◆天

正寺◆藤榮亮匡／淡路組

宣德寺◆昇高恭弘／神戸

中組大願寺

◆月嶋教史／加古川組南

宗寺◆堀川宣裕／城崎組

野晃順／姫路中組順正寺

◆神戸湊組善照寺◆堀晃

洋／揖龍東組西法寺◆天

正寺◆藤榮亮匡／淡路組

宣德寺◆昇高恭弘／神戸

中組大願寺

（十月二日）◆後藤善史

寺島文泰／加古川組

正寺◆堀晃洋／揖龍東組

西法寺◆光森常之／阪

組安養寺◆増井淨見（赤

穗北組淨蓮寺）◆藤榮行

神西組常宣寺◆大岡周賢

信（淡路組宣德寺）◆應

供乗生（城崎組清蓮寺）◆竹内俊之（揖龍東組淨

蓮寺）◆谷川弘顯（神戸

上義円／宍粟組西光寺◆

楠誓也／神戸湊組廣福寺

◆藤長正法／水上西組正

覺寺◆森田直道／播磨東

組妙覺寺◆大西正雄／神

戸西組顯眞寺◆松島法城

祥／多可組正福寺◆近藤

津守秀俊／神戸東組本光寺◆杉本

光俊／阪神北組光圓寺◆高

崎長英／北根組正光寺◆

伊東良昭／網干組永念寺

◆池本史朗／姫路中組法

性寺◆森川晋乗／神姫組

常徳寺◆山本明乘／揖龍

末井明尚／阪神北組観正

寺◆廣澤慶嗣／阪神北組

最徳寺◆藤井晃正／播磨

東組法心寺◆内田完史

出石組西宗寺◆辻清昭／

揖龍西組專龍寺◆八木顕

路南組教念寺◆浅田宗岳

田義量／赤穂北組慈眼寺

◆津守秀俊／神戸東組慈眼寺

寺◆眞能義巳／姫路中

組法性寺◆箱本照幸／姫

路西組本徳寺◆善井英毅

／城崎組照満寺◆和仁章

隆／神戸中組教秀寺◆田

中信明／神戸湊組光明寺

◆中原昭俊／阪神東組專

正寺◆藤榮亮匡／淡路組

宣德寺◆昇高恭弘／神戸

中組大願寺

法要ご満座にあたり

兵庫教区教務所長 松村彰道

兵庫教区・本願寺神戸別院輪番

別院親鸞聖人七五〇回大遠忌法要がかなねての計画通り厳粛にしかも盛大にご修行できましたこと教務所長・輪番として誠に有り難く慶ばしい限りであります。

ひとえに教区各寺院の皆様のご尽力によるものと厚く御礼申し上げます。

ご承知の通りこのご法要をはじめとする長期計画は基幹運動推進のためであり、教区の躍進を期してのことであります。</p



想いを語る三國氏

三國連太郎氏 記念講演

記念講演司会のもと、対談形式で開かれた。には俳優の三國連太郎氏をお迎え親鸞聖人像について著し川邊暁た「親鸞に至る道」や、自美氏(フリーアナウンス)監督・脚本を務めた「親鸞・白い道」等の作品があり、俳優人生を振り返り葉OFFICEながら、自らの宗教観等かのん代表について話された。

シルクロードへの旅死というものには、階級も何もありませんからね。アフガニスタン・インド国境を越えてチベットへ行つて、鳥葬を撮りに行つたんです。活字に書いてある仏教では分からぬ。信じる

ことが出来なかつた。僕自身が素手になつていくといふ欲望があつたと思ひます。

本物の仏教の原点を見てみたかつた。その歴史を逆に辿つていく旅だった。その深い歴史を体で感じてみたかつたんですね。

何か真実に接していくたい、…そういう態度でないと「白い道」のクランクインは出来ない、という気持ちでした。

親鸞聖人の誠意といふか、…自分自身をもつて現代人にその歩みを訴えかけたい。そういう行動をとる事で、世間からの批判も相当あつたと思います。

法要・法事・葬儀などに安住している仏教界は、大きく薄いガラスの上を歩いているようなものの親鸞聖人の精神に立ち返る必要がある。

次の世代に、いのちとバトンを受け継いでいく重い責任を持つている

映画『白い道』

と思います。

監督とは、大きな社会の歪みをスクリーンを通して不特定多数の人々に見えてもらうということです。それが監督の良心ではないでしょうか。

自分の真実だと思う方向へ歩んでいくことしかできない。そういうことが社会行動の原点なのではないでしょうか。

現生というものは、親鸞

門徒だから、葬式と法事をしてもらう。違うのが門徒にご法話を頂いた。

お聴聞しない人、これ

に続いて「現生正定聚

をテーマに、七人のご講師にご法話を頂いた。

お聴聞がないと仏様の事をしてもらわう。違うの

光にあえないのだから、淨土真宗の信心はお聴聞

に極まるのです。

門徒だから、葬式と法

事をしてもらわう。違うの

光にあえないのだから、絶

えずお聴聞お聴聞と我々の先輩方が説いてきた。

では何を聞くのかとい

えば、親心をきくのです。

お聴聞しないと仏様の事をしてもらわう。違うの

光にあえないのだから、絶

えずお聴聞お聴聞と我々の先輩方が説いてきた。



▲厳かな分灯式

十月五日には、本願寺御影堂の灯火（常灯明）の分灯を「安穩灯火リレー」として全国を巡る「安穩灯火リレー」が別院に到着した。

音楽法要の前に行われた分灯式は、光を落とした本堂の中で、厳かな雰囲気に包まれて執り行われた。

安穩灯火リレー

▲安穩号も到着



▲華やかなお茶席（兵庫大学茶道部）

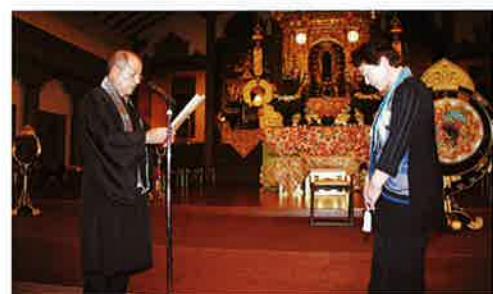


◀作文の表彰

▲藤榮行信師



▲増井淨見師



今が本番 今が大切とい
言葉を、今の世の中（現生）
までは持ってきておられま
せんでした。今の世の中、
現実の世の中とは違うと判
断された。つまりお淨土に
帰らしてもらってから、正
定聚の仲間に入るという言
い方をされました。

今、私達が現生までこの
事を持ってきて下さった親
鸞様の教えにあうというこ
とは、いかに現実の生き方
を見つめることが大切なこ
とであるか…。

僧侶であれご門徒であ
れ一人一人が今の混迷の世
の中を生きていく、生かさ
れていく、その意味をこの
度のご法要の中に共々に味
わせていただきたい事と
思います。

◀十月五日>藤榮師

「今」を生きる「場」と
いうことが一番問われる
のが仏教の基本です。
どれが本当のものであ
るのか、何が本当のより
どころであるのか、様々
なものを求めながら行き
着くことが無い。知らず
知らずのうちに無常にも
時間は過ぎ去っていく。

正定聚とは、「今」というこ
と。なぜ親鸞聖人は「今」
ということをおっしゃられ
るのか。

正定聚とは、仏様に成ら
せていただくということが
定まつたなかも。

正定聚の人になるのはい
つか、と言つたら今、ただ
定から始まる歩みです。
私達はどこに向かって生
きている、我々のいのちの
向いている方向はどこなの
でしょうか。

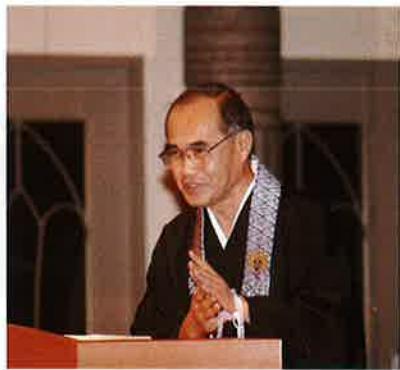
それに対し明確に、「お
淨土に生まれ佛に成る」私

では、「正定聚」というお
言葉を、今の世の中（現生）
までは持ってきておられま
せんでした。今の世の中、
現実の世の中とは違うと判
断された。つまりお淨土に
帰らしてもらってから、正
定聚の仲間に入るという言
い方をされました。

今が本番 今が大切とい
わても、大切なことは解
るが、どう大切に生きてい
かなければならぬのかと
いう、一番大事な所になる
とはたらき、仏様の真理の
一言、それがどなたにも届
けられてある。本当のより
どころが今ここにどんな状
況であろうとも今届けられ
てあるんですよ、と教えて
下さったのが現生正定聚と
いうことばなのです。



▲舞踊と歌で盛り上がる



▲應供乘生師



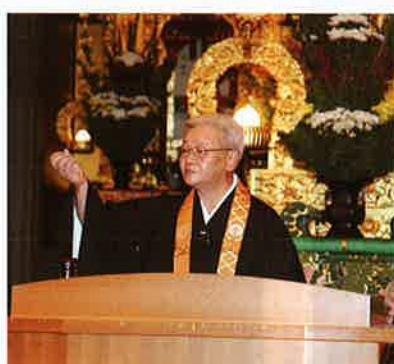
▲莊嚴さを引き立てる雅楽(特別法務員協議会)



▲コーラスの響き(30日)



▲無事に帰路につきました



▲谷川弘願師



▲竹内俊之師

に一つの方向が示されたのが正定聚ということばなのです。

あなたの往く先はこうなんですよと、方向が示されたよろこび、それを現生正定聚ということばが示して下さつておられます。

如来の智慧をいただくということは、争い事の種は全て自分の中、自己中心性の中にある。そのことを知つて生活すれば、心豊かな日暮し、念佛の日暮しなんだよ、と御門主がご消息で教えて下さいました。

お念佛することは心豊かになること、争いも無しに、恥ずかしい自分自身の姿を知らされて心豊かにこの世を過ごすことが出来る事。その事を私たちは聞かせていただく。そういう事をしつかりいただき、来年からの本山の法要にお参りさせていただいて、親鸞様の前で「親鸞様、おかげで心豊かに日暮しさせていただいております。南無阿弥陀仏」と皆でお礼を申

させていただきましょう。

〔十月八日〕谷川師

簡単に申し上げますと、ご本願は、「所を隔てず、時を分かず、人を嫌わない」ことを申されます。

「所」と「時」と「人」を言わない、とおっしゃられる訳であります。そういだきますと、その「所」と「時」と「人」は「いつでも」「どこでも」「だれでも」という事です。

「いつでも、どこでも、だれにでも」はたらき願つて下さつておられる。

それを私という所からいなさりますと「今、ここにいるこの私」です。

「いつでも、どこでも、だれでも」という事は、同時に「今、ここにいるこの私」が願われ、はたらかれだれをいただいていく。そういう思いを頂戴させていただける。そういう私というものをいただいていく。そういうのをいただいていく。ただくという事が大切であります。

いのちの温もりの、響きの世界。その響きを響きとして受け止つていくお互い。五十年に一度の「勝縁